

地域住宅生産者グループ No.207

## 「森の貯金箱」復興住宅プロジェクト

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
「森の貯金箱」	釜石地区（釜石市、大槌町）

## グループの特徴とメッセージ

＜森林の機能をそのままに、住宅に取り入れた家づくり＞

- ・ 森林は二酸化炭素の吸収源であり、木材は燃やされない限り炭素を固定してくれます。この木材を贅沢に使用した住宅は、まさに「森の貯金箱」なのです。
- ・ 再生可能な地域の森林資源を活用することで、環境に貢献できます。
- ・ 地域の森林を管理している森林組合と使い手である地域工務店・設計事務所が連携し、木の良さを最大限に活かしながら、木材寸法の統一・工場生産によるパネル化等により工期を短縮し、低廉で良質な住宅供給を行います。

## グループの基本情報

グループ名称	「森の貯金箱」 復興住宅プロジェクト
所在地	釜石市片岸町 1-1-1 釜石地方森林組合事務所兼 モデルハウス内
結成年月	2012年2月
グループ形態	任意団体
主たる業態	建設業
グループ構成 ※各事業者名 は別紙	合計6社 原木供給 : 1社 製材 : 1社 建材流通 : 1社 プレカット : 1社 設計 : 1社 施工 : 1社
代表者名	立花 功(株式会社リンデン バウム遠野代表取締役社長)
主な受賞歴・ 活動内容等	2004年「みつわ台の家」千 葉県建築文化賞(環境に配慮 建築物)・千葉市優秀建築賞 受賞

## 地域型復興住宅の主な工法・価格帯

主な構造・工法	木造軸組工法
価格帯	800~1,000万円
価格の基準面積	100㎡
価格に含まない 項目	屋外工事費、外構工事費、 設計料、諸手続費

\*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。  
詳しくはお問い合わせください。

## グループ全体の施工実績（年間）

建設戸数*（木造戸建）	40戸	
うち地域材活用の住宅	36戸	
うち長期優良住宅	4戸	
グループとしての 施工実績	あり	1戸
グループとしての地域 型住宅の受注可能戸数	20戸	
自由記入欄 (上記以外の実績等)	遠野市仮設住宅、 宮古市・山田町仮設 住宅建設	

\*参画する施工業者の建設戸数の合計

## 連絡窓口

担当者名	岩手県森林組合連合会 復興支援窓口 担当：阿部	メール	Iwamori2@echna.ne.jp
電話番号	019-654-4421	F A X	019-654-4420
ホームページ	<a href="http://iwatemoriren.org/">http://iwatemoriren.org/</a>		
自由記入欄	施工事例掲載 HP <a href="http://www.yui-sekkei.co.jp/">http://www.yui-sekkei.co.jp/</a> (欄結設計 HP 内)		

地域型復興住宅

「森の貯金箱」

地域型復興住宅のイメージと特徴

■「森の貯金箱」は、壁の芯まですべて  
岩手の木でつくる住まい

- 4m×10.5 cm角のスギ無垢柱材を連結したパネルで屋根、壁、床を構成し、従来の木造住宅の約3~4倍の木材を使用する温もりにあふれた住宅です。
- 木材寸法の統一、工場生産によるパネル化で工期短縮になり、経済的です。

■生活変化に対応した住まいづくり

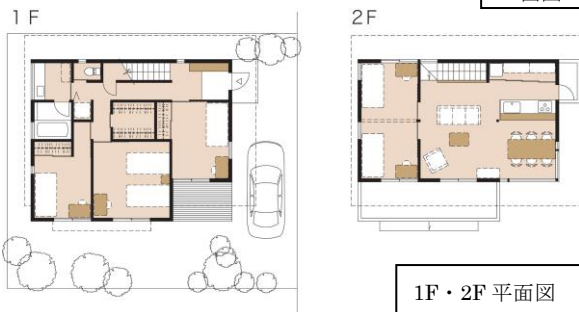
- パネル化した部材は取り外しが可能であり、増改築や解体・移設が容易です。
- 内部の仕上げは、木に塗装することはもちろんクロスや和紙も自由に貼れます。



※白壁の例（予定としては板壁）



立面図



1F・2F 平面図



代表的事例の概要

構造	FSB (Forest stock in building) 工法	床面積	1階：66.25 m <sup>2</sup> 2階：49.69 m <sup>2</sup>
設計	株式会社 結設計 (設計協力)	施工	株式会社 リンデンバウム遠野
施工費	1,200 万円 (設計費用は除く)	備考	—

## 設計方法や地域材活用に関する特徴

### ■ 貯金箱の中をライフスタイルにあった間取りに

- 12 の基本プラン（ベースプラン）の中から自分に合った間取りを選択して頂き、設計者と相談しながら、自分スタイル（マイプラン）に修正できます。
- 全ての住宅において、構造計算を行い、安全性を確認致します。

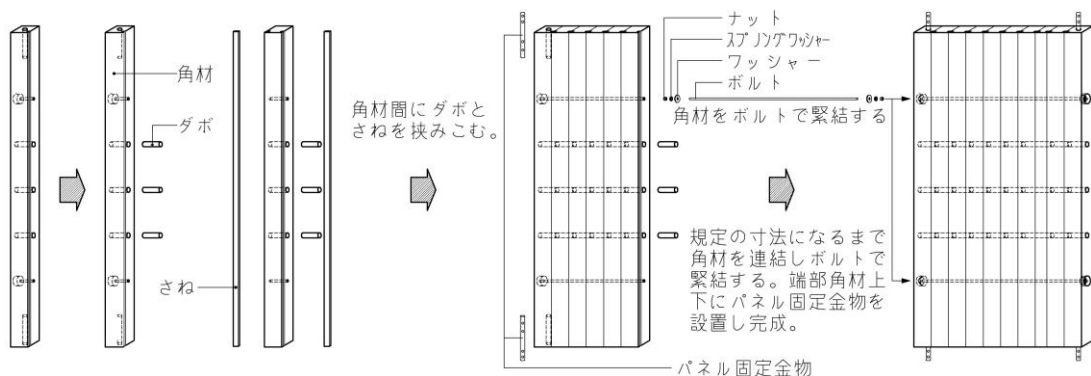
### 主に活用している地域材について

地域材の名称	岩手県産材
樹種	杉、赤松、唐松
産地	岩手県釜石地域
認証制度等	岩手県産材産地証明書
主に取扱う材種	無垢材
主に取扱う部材	柱材、梁材、羽柄材、内装材
自由記入欄	地域型復興住宅では岩手県産材（主に釜石市産材）を100%活用した住宅を供給します。

## 性能・仕様および施工方法等に関する特徴

### ■ FSB（Forest stock in building）工法

- 木材を構造強度や断熱性能はもちろんのこと、平滑性を活用した構造体表しや和紙張り等の内部仕上げ、熱容量を活用して温度変化が少なく、調湿機能による結露しない内部空間、自己消火性能を有した防火構造の外壁等として活用できます。
- 4m×10.5 cm角の柱材を連結したパネルとすることにより、1階から2階桁までの壁パネル、屋根パネル、2階床パネルとしての活用範囲が広がり、新しい施工方法を確立。パネルは工場生産とし、現場に持ち込むことで現場施工の省力化が図られ、工期短縮につながります。
- 設備配管は施工簡略化を考え、一階床下の使用はせず外部の腰壁に配し、床下はエアコンのダクトとして活用し、深夜電力での基礎蓄熱も検討できます。



地域住宅生産者グループ

「森の貯金箱」復興住宅プロジェクト

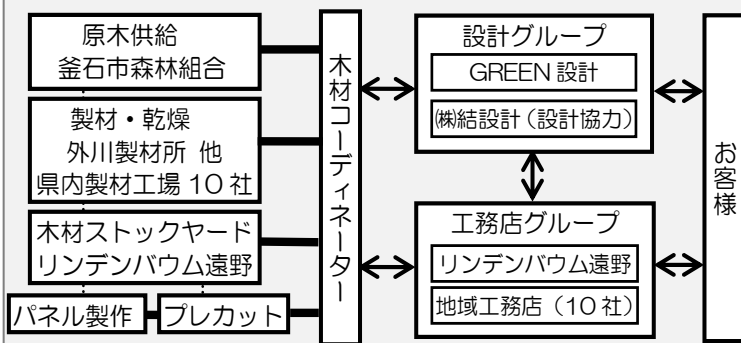
地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

■ 木材供給体制と工場生産体制

- ・ 木材コーディネーターが原木供給からパネル化・プレカット加工までを一貫して管理し、設計者グループと工務店グループと連携し安定供給を行います。
- ・ 木材寸法の統一・工場生産によるパネル化等により工期を短縮し、低廉で良質な住宅供給を行います。



「森の貯金箱」復興住宅プロジェクトの生産・流通体制



施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

■ 相談窓口（連絡窓口）の設置

- ・ 常時、相談窓口（連絡窓口）において新築・増改築の相談や不具合等のメンテナンスに対応致します。
- ・ 設計グループの設計者と工務店グループの施工者が相談者の希望を具体化し、適正な仕様及び費用を迅速にお客様にご提示し、各種制度等のご紹介も行います。

■ 維持管理メンテナンス体制

- ・ 工務店グループの工務担当者が竣工引渡し後6ヶ月でハガキによる不具合の有無の確認を行い、以後1年毎に直接現地にて定期点検を3年間行います。

